

## マスタークラス募集要項

応募資格：13歳以上の音楽学生、演奏家。国籍不問。

指導内容：原則として12日間。各受講生は期間中5回の個人レッスン(1回約1時間)を受講。伴奏、通訳付き。受講生はどのクラスも聴講自由。

費用：入学金:15,000円

### ★リピーター割引あり

2年連続で受講される場合は入学金を5000円割引、前回受講時から5年以内\*に再度受講される場合は入学金を3000円割引いたします。割引金額の合算はできません。  
\*2019年～2022年に受講された方を対象とします。

授業料：155,000円

特別講座(オーケストラスタディ・初見):15,000円(各回)

特別講座(室内楽):1名につき60,000円(全4回)

応募締切：2023年12月15日(金) 必着

合格発表：2024年1月中旬頃に郵送にて本人に通知

会場：関西日仏学館(京都) 他

練習場所：期間中、希望者に斡旋(要予約)

宿泊施設：希望者には合格後、予約申込書をお送りします。

### 受講申込：

■下記のオンライン受講申込フォームに必要事項を記入し、送信してください。

<https://forms.gle/KVhD3QHXdMfZUCD8>

※公式サイトでは受講申込書のダウンロードも可能です。受講申込書による応募を希望する場合は必要事項を記入の上、郵送またはメールで事務局宛にお送りください。

■審査用の資料は下記の方法で提出してください。

●演奏動画(必須)：過去1年以内に収録した15分以内の演奏動画。曲目自由(ただし声楽クラス希望の場合、フランス語のアリアまたは歌曲1曲と、自由曲1曲)。Youtube等の動画投稿サイトに動画をアップロードし、共有URLを受講申込フォーム内に記入してください。動画が再生できることをご自身で必ず確認してください。動画は限定公開可。DVD等の物理メディアの提出は受け付けません。

●その他の資料(任意)：推薦状やプレス記事、コンサートチラシなど(A4サイズに収めること)。郵送またはメールで事務局宛にお送りください。

■申込時点で18歳未満の場合は、保護者の氏名、住所、捺印、同行の有無を明記した書面(書式は自由)の原本を事務局宛に郵送してください。

※提出された添付資料はお返ししません。

※室内楽のみの受講は、グループでの応募に限り可能です。グループの代表者が必要な資料を添えてお申し込みください。

お申込はこちらから



# 第33回 京都フランス 音楽アカデミー 受講生募集

## ACADÉMIE DE MUSIQUE FRANÇAISE DE KYOTO

フランスの一流演奏家たちが京都に集結する、特別なマスタークラス！  
現地さながらの環境で、本物のフランス音楽教育を体験してみませんか。

# 2024年3月19日(火) - 3月31日(日)

※3月30日(土)は教授陣によるコンサートのため休講

応募締切 | 2023年12月15日(金) ※必着

主催：京都フランス音楽アカデミー実行委員会

後援：京都市、在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ、在京都フランス総領事館

助成：笹川日仏財団

協賛：稲畑産業株式会社、パウエル・フルート・ジャパン、  
株式会社 ビュッフェ・クラボン・ジャパン、株式会社 Liuteria-TAKADA、  
株式会社 旭堂楽器店

協力：京都女子大学、ANAクラウンプラザホテル京都、ヴィラ九条山  
教育提携：パリ・エコール・ノルマル音楽院、パリ国立高等音楽院

## イベントのご案内

### 公開レッスン

3月23日(土)、24日(日)

アカデミーの授業は非公開であるため、期間中に各教授1回60分の公開レッスンを全クラス行います。

会場：関西日仏学館(京都) 稲畑ホール

聴講料：2,000円(1科目1教授につき)

7,000円(1日通し券)

聴講券：2024年1月発売予定 ※受講生は入場無料



### プロペラプロジェクト特別コラボレーション ジュニア向け弦楽合奏ワークショップ2024

3月26日(火)、27日(水)

ヴァイオリニスト森悠子が次世代の子ども達のために実施している「プロペラプロジェクト」とのコラボレーションとして、小学3年生～中学2年生を対象としたワークショップを開催します。応募方法等の詳細は決まり次第、公式サイトにてご案内します。

会場：関西日仏学館(京都) 稲畑ホール

受講料：15,000円

聴講料：2,000円

講師：森悠子

70年渡仏。バイヤール室内管弦楽、フランス国立新放送管弦楽団、リヨン国立高等音楽院助教授等歴任。89年京都フランス音楽アカデミーを創案、開講、11年まで音楽監督を務める。97年長岡京室内アンサンブル設立。13年より年2、3回子ども音楽道場(プロペラプロジェクト)開催。



### 第33回 京都フランス音楽アカデミー アンサンブル・スペシャル・コンサート2024

3月30日(土) 14時30分開演

アカデミーに招聘された教授陣によるコンサート。

会場：京都府立文化芸術会館

入場料：4,000円(一般)

3,000円(学生/クラブ・フランス会員)

協力：エラート音楽事務所

Tel. 075-751-0617

チケット：2024年1月発売予定

※受講生は入場無料



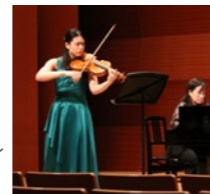
### 受講生コンサート

3月31日(日)

各クラスから選ばれた優秀受講生のコンサートを開催します。

会場：京都市立京都堀川音楽高等学校 ホール

入場料：無料



お問合せ・お申込先：京都フランス音楽アカデミー実行委員会事務局

Tel. 075-761-2114 (日・月・祝休) | Fax. 075-761-2169 | Mail. [academie@institutfrancais.jp](mailto:academie@institutfrancais.jp)

〒606-8301 京都市左京区吉田泉殿町8 関西日仏学館(京都)内

名誉会長：フィリップ・セトン(駐日フランス大使)

実行委員長：サンドリン・ムシェ(在京都フランス総領事、関西日仏学館館長)

アドバイザー：森悠子(長岡京室内アンサンブル音楽監督)

※このパンフレットの記載内容は予告なく変更される場合があります。最新情報は、公式サイト([academie.institutfrancais.jp](http://academie.institutfrancais.jp))をご確認ください。

お問合せ：京都フランス音楽アカデミー実行委員会事務局

〒606-8301 京都市左京区吉田泉殿町8 関西日仏学館(京都)内

Tel. 075-761-2114 Fax. 075-761-2169 [academie@institutfrancais.jp](mailto:academie@institutfrancais.jp) [academie.institutfrancais.jp](http://academie.institutfrancais.jp)



京都フランス音楽アカデミーは、ヴァイオリニスト森悠子氏と当時の関西日仏学館館長ミッシェル・ワッセルマン氏の主導により、1989年に発足した日仏音楽交流事業です。1990年3月に第1回京都フランス音楽アカデミーが開催されて以来、毎春、フランスよりトップクラスの音楽家が来日し、フランス政府公式機関である関西日仏学館内で約2週間のマスタークラスを開講。その規模、歴史、水準の高さから、フランス国外で行われる最も重要なフランス音楽教育の場となっています。

招聘教授プロフィール

声楽



マリー＝テレーズ・ケレル Marie-Thérèse Keller バリ・エコール・ノルマル音楽院教授

メソソプラノ。ストラズブル地方音楽院卒業後、ハンズ・ホッターとドゥニーズ・デュプレクスに師事し、パリ・オペラ座等での公演に出演。ラヴェル「スペインの時」コンセプシオン、カルメン、タイトルロール、「ヴェルテル」シャルロット、ナタリー・デセイと共演した「ランメルモールのルチア」アリーサや「ラクメ」マリカ、「美しきエレース」、「ミニョン」、「カルメル会修道女の対話」マリー、「フィガロの結婚」ケルビーノとマルチエリーナ、「ベレアスとメリザンド」ジュヌヴィエーヴ等で高い評価を得る。近年の出演作はブッチーニ「ジャンニ・スキッキ」、「修道女アンジェリカ」、ベルク「ルル」、アラン・ロンバル、マレク・ヤノフスキら著名指揮者との共演や、多数のリサイタル出演の他、ヴェルディ「レクイエム」、ロッシーニ「小莊荘ミサ曲」等のオラトリオやマラー「大地の歌」にも出演。現在、パリ・エコール・ノルマル音楽院教授。ラン国立オペラでは「声楽家の身体訓練」とフランス語ディクションの指導も行う。

ピアノ



クレール・デゼール Claire Désert バリ国立高等音楽院教授

ラ・ロック・ダンテロン等の有名音楽祭に常連として出演する他、国際的な舞台に多数出演。ソリストとしては、バリ管弦楽団等の主要オーケストラや、マレク・ヤノフスキらの指揮者と共演している。14歳でパリ国立高等音楽院に入学。ピアノをヴェンティスラフ・ヤンコフに、室内楽をジャン・ユポの下で学び、両科目で1等賞を獲得。同音楽院修士課程では室内楽をロラン・ピドゥーに師事。エフゲニー・マリニーに見出され、モスクワ音楽院にも留学した。実力派室内楽奏者として知られ、エマニュエル・シュロッセ、アンヌ・ガスティネルらと定期的に共演している。充実したディスクグラフィーの中では、シューマンのノヴェレッテを収録したアルバムがレヴェルトワール誌で10点を得た他、97年にドボルザークとスクリャービンの協奏曲の録音でヴィクトワール・ドゥ・ラ・ミュージック賞受賞。シューマンを収めたCDではテレマ誌「fff」とクラシカ誌「Choc」受賞。現在、パリ国立高等音楽院教授。

ヴァイオリン



オリヴィエ・シャルリエ Olivier Charlier バリ国立高等音楽院教授

第一線で活躍する演奏家の中でも際立った存在感を放つヴァイオリニスト。14歳でパリ国立高等音楽院で1等賞を獲得した後、ミュンヘン、モントリオール、シベリウス、ロン＝ティボー等の国際コンクールで次々に受賞を重ねる。国内外のオーケストラとの共演多数。録音ディンクでは、デュティユー、ラロ、サン＝サーンス、メンデルスゾーン、モーツァルト、ヴィヴァルディから、エドワード・グレグソン、ジェルラルド・シュルマン等まで、幅広いパートナーの協奏曲を取り上げている。ラ・ロック・ダンテロン、ブラード・カザルス、ラ・フォル・ジュルネ等の音楽祭への出演をはじめ、室内楽も重視しており、ジャン・ユポーやプリジット・エンゲラーとの共演でCDをリリースしている他、エマニュエル・シュロッセとヤン・ソウオンとのトリオ・オウオンとしても録音多数。自身の師であるドゥカンの後を継ぎ、92年よりパリ国立高等音楽院教授。19年、22年の仙台など、多くの国際コンクールで審査員も務める。

ヴィオラ



ピエール・レネール Pierre Lenert バリ・エコール・ノルマル音楽院教授

驚くべき自在さを備えた演奏が高く評価されており、ピアニスト大瀬悦子とのデュオでの新作CD「情熱」ではクララ・シューマン、ブラームス、ヨアヒムに至るのオマージュを捧げている。また、アンサンブル「レネール・ファンタジー・グループ」でオペラからシャンソンまで独創的なレパートリーに取り組み。65年のエマニュエル・ヴァルディ以降、ヴィオラでバガニニー「24のカプリース」の録音に挑戦したヨーロッパで唯一の演奏家。これまでにヴェータン「ヴィオラとピアノのための作品集」等のCDを発表。最初の師は父ジャン・レネールで、その後ユーディ・メニューインと決定的な出会いを果たす。フリッツ・モリス財団や主要な国際コンクール(ライオン・ターティス、マルクノイキルヘン、モーリス・ヴェー)の受賞者でもある。パリ国立歌劇場管弦楽団ソ首席ヴァイオラ奏者。セレナード国際室内楽フェスティバルとル・グー・ドゥ・ラ・ミュージック・フェスティバルで芸術監督を務める。パリ・エコール・ノルマル音楽院教授。

ピアノ



エマニュエル・シュトロッセ Emmanuel Strosser バリ国立高等音楽院教授

同世代の中でも注目のピアニストとして、有名音楽祭や国際的な舞台でリサイタルを行う他、ソリストとして主要オーケストラと共演。室内楽も重視しており、クレール・デゼールとピアノ・デュオを組む他、オリヴィエ・シャルリエ、ヤン・ソウオンと結成したトリオ・オウオンのメンバーでもある。ストラズブル出身。エレヌ・ボスキに師事した後、パリ国立高等音楽院でジャン＝クロード・ベヌティエ(ピアノ)とクリスチャン・イヴァルディ(室内楽)に師事。満場一致で両科の1等賞を得た後、レオン・フライシャー、ドミトリー・パシキーロフ、マリア・ジョアン・ピレシュの下でも研鑽を積む。フィレンツェ国際室内楽コンクール入賞、91年クララ・ハズキル国際ピアノ・コンクールファイナリスト。現在、パリ国立高等音楽院教授。最近では、シュペルトとシャブリエの作品を収録したソロアルバムをMirareよりリリース。デゼールとの共演では、同レーベルの「L'enfance」(13年)等で高い評価を得ている。

ピアノ



ブルーノ・リグット Bruno Rigutto バリ・エコール・ノルマル音楽院教授

パリ国立高等音楽院でピアノをリュセット・デカーヴに、室内楽をジャン・ユポーに師事。同院では作曲と指揮も学ぶ。ロン＝ティボー国際コンクールとチャイコフスキー国際コンクールで入賞。10年間サンソン・フランソワの唯一の弟子となる。若くして国際的に認められ、カルロ・マリア・ジュリーニ、ジョルジュ・ブレートルら著名指揮者たちに招聘される。室内楽にも力を注ぎ、アイザック・スターンやムスティスラフ・ロストロポフ・ヴィチ等と共演。DECCA、EMI等のレーベルで録音も多数行い、ディスク大賞を複数回受賞。19年、Apartéレーベルよりショパンのノクターン全集の新録音を発表。指揮者や作曲家としても活動し、舞台や映画音楽にも関わる。アルド・チッコリーニの後を継ぎ、パリ国立高等音楽院では20年以上にわたり教鞭を取った。現在(パリ・エコール・ノルマル音楽院教授であり、ヨーロッパや日本で定期的にマスタークラスもしている。レジオン・ドヌール勲章シュヴァリエ受章者である。

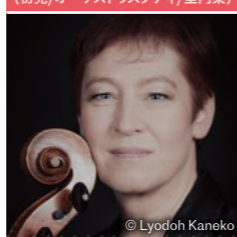
ヴァイオリン



レジス・バスキエ Régis Pasquier バリ・エコール・ノルマル音楽院教授

幼少時より音楽に触れた早熟の才能は、12歳にしてパリ国立高等音楽院でヴァイオリンと室内楽の1等賞を受賞。14歳で渡米し、アイザック・スターン、ダヴィット・オISTRAフ、ピエール・フルニエ、ナディア・ブーランジェと出会う。数年後、ジノ・フランチェスカッティがその才能に惚れ込み、共にバツハの「2つのヴァイオリンのための協奏曲」を録音。各国の有名オーケストラにソリストとして招かれ、ロリン・マゼール、ジョルジュ・ブレートルら名指揮者と共演し、不動の評価を得る。室内楽では、アイザック・スターン、ムスティスラフ・ロストロポフ・ヴィチらと共演。91年ヴィクトワール・ドゥ・ラ・ミュージック年間優秀ソリスト賞および、ヌーヴェル・アカデミー・デュ・ディスク特別賞受賞。若手育成にも力を注ぎ、85年～11年、パリ国立高等音楽院教授。現在、パリ・エコール・ノルマル音楽院教授。ステファン・グラッペリの招きで複数のジャズコンサートに出演するなど、ジャズ愛好家でもある。

チェロ、特別講座(初見/オーケストラスタディ/室内楽)



ディアナ・リゲティ Diana Ligoti バリ国立高等音楽院教授

チェロ奏者・指揮者として、国際的に多彩な活動を展開し、著名な演奏家とも共演多数。アンサンブルでは「トリオ・ジョルジュ・サンド」や「カリオペ」に参加する他、「オープン・チェンバー・オーケストラ」のソロ・チェロ奏者を務める。これまでに Arion、Polymnies、Leman classics、日本室内楽振興財団等からリリースしたCDが批評家から称賛を得ている。ミュンヘンのARD国際音楽コンクールファイナリスト、ドゥエ国際チェロコンクール優勝などの受賞歴に加え、「トリオ・リゲティ」として参加した大阪国際室内楽コンクールでは第1位に輝く。現在、パリ国立高等音楽院、リュエイユ・マルメゾン地方音楽院教授。ヨーロッパアン・チェンバー・ミュージック・アカデミーと京都フランス音楽アカデミーの教授陣にも加わる。04年以来、フォンテーヌブロー・アメリカ音楽院で教鞭をとる。18年には、100年の歴史を持つ同音楽院で、女性としてはナディア・ブーランジェ以来初めてアーティスティック・ディレクターに就任した。

分かりやすい解説、個人個人のレベルに合ったご指導で、短期間で上達することができました。

5回のレッスンでは細かく指導を受け、音楽的なことや普段の練習に対するアドバイスを受けたので、作品の理解と奏法の技術が向上しました。レッスン以外にも、他の楽器の授業を見学に行き学びを得られました。

初めて海外の先生のレッスンを受講しましたが、想像を遥かに超える素晴らしいレッスンで自分の演奏がみるみるよくなっていくのを実感できてとても嬉しかったです。

受講生の声(第32回アンケートより抜粋)

クラリネット



フロラン・エオー Florent Héau バリ地方音楽院教授

優れたフランス流派クラリネット奏者の1人として、輝かしい伝統を世界中に伝えるべく演奏活動および教育活動を行っている。パリ国立高等音楽院でミッシェル・アリニョンのもとで学び、数々の国際的なコンクールで第1位を獲得。室内楽にはとりわけ精力的に取り組み、ルノー・カピュソン、ジェラール・コセ、アンリ・ドゥマルケット、アンヌ・ガスティネル、ミッシェル・ペロフらと共演するほか、ソリストとしては、ヨーロッパアン・カメラータ、バリ室内管弦楽団、フルター・ニュー管弦楽団、ボースラ放送室内合奏団、ブラハ室内管弦楽団等と共演。また、ティエリー・エスケシュヤフリップ・エルサンら現代音楽の作品も初演している。パリ国立高等音楽院でミッシェル・アリニョンのアシスタント教授を務めた後、リュエイユ＝マルメゾン地方音楽院教授を経て、現在はバリ地方音楽院およびローザンヌ高等音楽院教授として後進の指導を行う。ヨーロッパ各国やラテンアメリカ、アジアのマスタークラスにも定期的に招聘されている。

フルート



ジャン・フェランディス Jean Ferrandis バリ・エコール・ノルマル音楽院教授

モーツァルトのフルート協奏曲K314を演奏した際、アダージョを聞いたバーンスタインに「彼はまさにパン(牧神)である!」と言わしめるほど称賛を得たフルティスト。リヨン国立高等音楽院を卒業後、ブラハの春国際音楽コンクールで優勝。以後、カーネギーホールやシヤンゼリザ劇場など、各国の有名ホールでリサイタルや室内楽の公演を行う他、ソリストとしてオーケストラと共演。多くの音楽祭にも招かれ、ジャン＝フィリップ・コラル、アンリ・ドゥマルケット、イヴリー・ギトリス、ジャン＝マルク・ルイサダらと共演している。録音ではあらゆるフルートのレパートリーを取り上げ、22年にはモーツァルトのフルート四重奏曲全集を発表。世界初演となったアレクサンダー・デスプラの「ベレアスとメリザンド」等、現代の作曲家の作品を演奏することも多い。現在、パリ・エコール・ノルマル音楽院とカリフォルニア州立大学フラトン校で教鞭をとる。ヨーロッパ、日本、韓国、アメリカでは定期的にマスタークラスでの指導も行う。

声楽・ピアノ・弦楽器・管楽器クラス

レッスンはすべてマンツーマンで行われます。課題曲は設けず、各受講生の希望する曲を指導。各受講生は、期間中5回の個人レッスン(1回約1時間)を受講します。個人レッスン以外の時間帯には、他の受講生のレッスンや、他の科目のレッスンも自由に聴講していただけます。日本にいながらにして、まるでフランスの音楽院で学んでいるかのような環境を体験できる、またとない機会です。都合の悪い日に個人レッスンが当たらないよう、ある程度の調整は可能ですが、期間中はなるべく毎日出席することをおすすめします。

※特別聴講制度 受講生以外の方にもアカデミーのレッスンをご覧いただけるよう、特別聴講制度を設けます。聴講料:7,000円(1日)。未就学児不可。詳細はアカデミー事務局までお問い合わせください。

特別講座:オーケストラスタディ / 初見 / 室内楽

パリ国立高等音楽院のディアナ・リゲティ教授を迎え、フランスの音楽教育ならではの長特を生かした3つの特別講座を開講します。

■オーケストラスタディ:オーケストラのオーディション対策に特化したレッスンを開講。弦楽器クラスのアカデミー受講生対象。各日1回90分。楽器ごとに日程が異なります。ヴァイオリンは2日間の受講も可。

3月25日(月)、3月28日(木):ヴァイオリン / 3月26日(火):ヴィオラ / 3月27日(水):チェロ

■初見:フランスの音楽教育において特に重視されている「初見」を実践的に学ぶ講座。フランスへの音楽留学を考えている方には特に受講をおすすめします。ピアノ・弦楽器クラスのアカデミー受講生対象。各日1回90分。1人何回でも受講可。

3月25日(月)～3月29日(金)

■室内楽:ピアノ・弦楽器クラスのアカデミー受講生を対象に、デュオ、トリオ、カルテットのメンバーを事前に募集します。グループでの応募も可。グループで応募する場合は、アカデミー受講生以外の方がメンバーとして参加することも可能です。ただし、その場合も各参加者には受講費用(入学金・授業料)をお支払いいただく必要があります。各日1回1時間。アカデミー期間中にグループごとに全4回のレッスンを行います。

※特別講座は原則としてアカデミーのマスタークラス各科目の受講生を対象としますが、特別講座のみの受講を希望される場合、事前に音源審査を受けていただきます。詳細はお問い合わせください。また、室内楽のみの受講は、グループでの応募に限り可能です。個人での応募はできません。※受講希望者数が一定の人数に満たない場合、開講を中止することがあります。※日程や回数、内容が一部変更される場合があります。

音楽学特別公開講座 3月27日(水)～3月29日(金) (全3日間)

ジャン＝ピエール・バルトリ氏(ソルボンヌ大学教授)による音楽学の特別公開講座を開催します。受講生以外の一般の方も聴講していただけます。3月27日(水)～3月29日(金) (全3日間、1回2時間) 聴講料:各回1,500円(一般)、1,000円(学生/クラブ・フランス会員) ※受講生は無料で聴講可能。事前申込不要。

音楽学特別公開講座



ジャン＝ピエール・バルトリ Jean-Pierre Bartoli ソルボンヌ大学教授

04年～08年にパリ・ソルボンヌ大学(パリ第4大学、現ソルボンヌ大学)で研究担当の副学長を務め、現在は同大学教授。フランス音楽分析学会の創設者の1人であり、17年～22年には会長を務めた。主に18世紀～19世紀の音楽言語や、音楽記号学、ペルリオースの様式、音楽におけるエキゾチシズムを中心に研究を行っている。ペーレンライター社のガブリエル・フォーレ全集の編集委員会のメンバーとして、第6巻(3)ピアノのための作品(未刊行作品を含む)を校訂。現在、第6巻(4)ノクターン等を準備中である。著書に「L'Harmonie classique et romantique(古典派とロマン派のハーモニー)」、「Minerve出版、第2版、2023年)や、ジャンヌ・ルデとの共著「L'Essor du romantisme, la fantaisie pour clavier de C. P. E. Bach à Franz Liszt(ロマン派の発展 C.P.E.バハからフランツ・リストまで、鍵盤への幻想)」、「(Vrin出版)等がある。99年～23年、ソルボンヌ大学で演奏会「レ・コンセル・ドゥ・ムジック」シリーズを開催した。

長期フランス音楽留学のチャンスに挑戦してみませんか。 フランス音楽留学 スカラシップ(奨学制度) 優秀受講生より3名

パリ・エコール・ノルマル音楽院 スカラシップ ~著名な音楽家が名をつらねる、伝統校への留学~

2004年より、京都フランス音楽アカデミーはパリ・エコール・ノルマル音楽院と教育提携しています。アカデミーの優秀生にはパリ・エコール・ノルマル音楽院への留学の道が開かれています。スカラシップ対象者は、秋から1年間の授業に参加するための入学金と授業料が免除されます。※入学手続きは同音楽院の規定に従って行っていただきます。別途諸費用はご自身の負担となります。

